



1. 木材を選択した経緯

三重県建築士会津支部では、平成12年から幼稚園・保育園児とその保護者と一緒に木製の遊具等を制作する取組を行っています。

既製品の遊具が多くを占めるなかで、子供たちと一緒にのこぎりで木を切ったり釘を打ったりしながら遊具を制作することにより、道具の使い方やものづくりの楽しさなどを伝えていきます。

また、使用する木材はすべて「三重の木」認証材を使用し、地域で育った木を積極的に利用しています。

■ 三重県建築士会 津支部の取組

| | |
|-----|--------------------------|
| 設備名 | 木製遊具等 |
| 所在地 | 津市内の幼稚園、保育園 |
| 協力園 | 津市内の幼稚園、保育園 |
| 期間 | 平成12年9月9日～ 平成26年1月24日 |

工事費 170～760千円/取組

木材利用量 0.4～7.0m³/取組

うち県産材利用量 0.4～7.0m³/取組

設計 (一社)三重県建築士会 津支部
園児、保護者、

施工 (一社)三重県建築士会 津支部

2. 設備の特徴

子どもたち自身の自由な発想から生まれたデザインの木製遊具を子供たちと一緒に完成させます。それを日常の中で使ってもらうことで、ものづくりの楽しみや喜びなど多くの発見を生み、感じる事ができます。

また、親と子、建築士や大工、子どもたち同士と一緒に作業することで助け合いや協力することを学ぶ機会にもなっています。さらに、伝統的な木造技術を知ってもらうよい機会にもなっています。

3. 施設等の課題、感想

野外的場合、木製遊具の老朽化に対するメンテナンスが必要になります。廃棄する際には木材は他の資材よりも環境負荷が少なくなります。

また、設計の際には子供たちの想像を妨げないように配慮が必要であるため、聞き取りには十分な期間が必要です。

子どもたちは、遊具等の制作に携わったことがかけがえのない思い出になっているようです。さらに、子どもたち自身が遊ぶことによりその喜びもひとしおのようです。